

☆作業日あれこれ

11月の作業日の天気はばっちり、充実した作業日になりそうな予感でしたが、久しぶりにやって来た定番のない陶芸家の姿を見かけた時、午後の作業継続に不安を感じてしまいました。

はじめの観察会はレクチャー・ルームで光学顕微鏡を使用して藻類の観察です。我々の世代は、生物は動物と植物と分類されると習い、光合成を行う葉緑素を持ちながら鞭毛があつて動き回るミドリムシはどっちに分類する



森の藻類観察会？！

のかが理科少年には問題になったりしていました。現在では、動物以外の生物は、種子植物、シダ植物、コケ類、菌類、そして酸素発生型の光合成を行う種子植物、シダ植物、コケ類を除いたものの「総称」として藻類と分類しています。謎であつたミドリムシもめでたく藻類に分類されることになります。海では小さなプランクトンから長さ50mを超えるジャイアントケルプまで種類も量も豊富です。直接食糧になるコンブやワカメ以外にも、微細藻類は過去には石油の生成や石灰岩、鉄鉱石の大半を占める縞状鉄鉱床(藻類が大量の酸素を発生させ海中の鉄イオンを酸化させ沈殿)のできる原因であり、食物連鎖の最底辺に位置付けられ(藻類がないと海に魚はいない!)、我々の生活に大きな位置を占めています。陸上でも大きなアモバのようなイクラゲや菌類と藻類の共生体である地衣類などとして生息していますし、大気中には様々な藻類の胞子が漂っています。また、地球上の酸素の70%は藻類が発生させていると観察会担当のシッチは驚くべき事実を告げました。この事実の前には地球温暖化防止のために二酸化炭素を消費する山林を保護するとかがとても小さく感じられてしまいます。人口増加などにより大規模な海洋汚染を発生させ海中の藻類が減少すれば、二酸化炭素は吸収されず酸素は大気に供給されなくなるという最悪のストーリーも浮かんできます。シッチはレクチャー・ルームの前の池で水を採取し、身近なところにいながら普段見る機会のない藻類を顕微鏡で見せてくれました。観察会の番外ではリョウマが登板、さる筋から得た今年のケキの不調原因を紹介しました。今年のケキの葉は初夏の頃より元気がなく、紅葉

しないうちに茶変し落葉しました。それは、今年はケキの種(タネ)の当たり年だつたことが原因だそうです。ケキの種は非常に小さく、散布範囲を広げるために小さな枝葉ごとヘリコプターのように回転して風に乗るのですが、種がたくさんついた今年は小さな葉ばかりが多く、紅葉する普通の葉がないということのようです。

一方マルはこの説明に懐疑的で、今年ケキの様子が変わつたのはケキに不都合な気候的要因が重つたため、ケキが身の危険を感じて「子孫を急いで残さねば！」と考え、結果として種を多くつけたのではないかと考えています。確かにケキやミカンの実の多い年(表年)と不作の年(裏年)がありますが、この10年以上の間ケキの表年というのは観察してませんので、やはり気候的な要因が先では？とも考えています。



マッチをつけてニコリ！

この日の作業は、愛知川沿いの竹林で竹の間伐、ケキの林周辺のクス・セイタカワダチソウ退治、入口近くのササの機械刈りと昼食作りです。予定していた作業は他にもあつたのですが、参加者が30名ほどのためモジの林の「選択的下刈り」は中止やなとマルに声をかけると「間もなく紅葉シーズンですから独りでもやります！」とのことで、独りで作業をしていました。ケキは目立つところに秋に黄色い花(セイタカワダチソウ)が咲くのが許せず、マル同様に独りでもこつこつと草抜きを行いました。セイタカワダチソウと同じく要注意外来生物リストに上がっているヒメジョオンが隣に生えていてもセイタカワダチソウだけ抜くという生態系保護の立場からはおかしいことをやってはいるのですが…。

この日のお昼はおでんがメイン、白菜と豚肉の煮つけ、大根葉の即席漬物、サツマイモや大根などの料理でした。予想通り、差入れのウイスキーもあり、定番のない陶芸家などと盛り上がり過ぎてしまいました。午後から他の面々は作業に散っていったのですが、虎どもは作業小屋で延長戦に突入、只今、大反省中です。しかし12月の作業日の午後は忘年会で、午後には作業がなく名誉回復には時間がかかりそうです。

12月の作業日は…

12月21日(水曜日) ←12月は第3水曜です！ 森の居酒屋は12月7日 午後7時頃～

12月10日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索！

第4水曜日は勤労感謝の日でした。祝日で参加者が多いかと思えばその逆で、皆さんお出かけなのか水曜としては過去最低といって良いほどの人数。しかしこの日は大阪から泉佐野丘陵緑地パーククラブ25名が研修として作業に参加されましたので総勢40名を越え、第2土曜日のように作業班を分けての活動を実施しました。パーククラブさんは現在整備中の大阪府営公園の保全活動にも当たられており、当森には先進地視察ということでのご来訪です。

作業は竹林の間伐、萌芽更新エリアでの選択的下草刈り、高林管理エリアでのアザミの萌芽枝伐採の3つ。お昼も「同じ釜の飯」を食べたいという要望でしたので、釜焚き炊き込みごはん豚汁、カブと鳥の炊いたの、カブの葉・お味噌汁の煮浸し、八宝菜、サツマの甘露煮、ブロッコリーの人参の彩りサラダなどなどいつもの遊林会メニューをみんなでお昼にいただきました。午後からはパーククラブのみなさんはマルによる研修と森の案内、遊林会メンバーはモジの林で林床管理と充実した1日となりました。12月の第4水曜は第3水曜（21日）ですでお間違えなく！

★11月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。11月は1回の活動を行いました。11/17 7人 林内各所の枯れ木や折れ枝の処理を実施。大物の枝もあり、かなり重作業でした。12月は1日、15日が活動日です

★河辺いきものの森スタッフルーム情報

河辺いきものの森には薪ストーブが2台あり、森の入館者にも人気です。薪ストーブを使う上で一番気を使うのは掃除で、①掃除をしないと煙突にスヤタルがたまり、それが発火・煙道火災という現象が起きる。②熱くなった煙道の周りの素材が発火③火事、という流れです。炭焼名人が炭焼き小屋の煙突を掃除するために火をつけて煙突を燃やしているのを見かけたことがあります、ものすごい火柱があがります。そういった薪ストーブの火災が日本で年に何件も起きているので、掃除はきっちりこなします。

さて、そのストーブは2台ともアイルランド製。いろいろの文化のためか、日本製の薪ストーブの流通量は少ないようです。東近江スペシャルという薪の木も燃やせるというストーブが開発されているようですが、スヤの出やすい針葉樹の木はストーブにとっては敵です。どう対策しておられるのか、気になる所です。

★冬のもりもりデイキャンプ！

今年の春に、小学校1～3年生を対象に「もりもりデイキャンプ」を実施しました。申込みは電話による先着順、定員40名、料金一人1,800

円という内容ですが、受け付け開始後15分で定員に達してしまい、そのあと100名近くあった申し込みに対してはひたすらお詫びをするという事態となりました。

このため、春に参加してくれた子どもたち以外を対象として12/4に冬のもりもりデイキャンプを行うことにしました。定員・料金とも春と同じですが、今回は抽選方式をとることにしました。しかしまたしても超人気で、定員40名に対し応募が174名に！倍率4.35倍！何と134人が落選する事態となったので、急遽同じ内容で12/27にも実施することにし、落選された方のみ応募可という条件で募集したところ34名が応募、再々抽選ということにはなりませんでした。それでも参加できなかった残り100人の子どもたちには、申し訳ないなあと思っています。私たちがすべきことは、参加を希望したすべての子どもたちの期待を裏切らないよう全力で良いイベントにすることです！

★モリイコ！の子どもたち

4歳～小学校3年生を対象に行う全10回のモリイコも6回目を過ぎました。今回のテーマは「たき火」。小学生は火を扱う経験が多少あるようですが、さすがに森から枝葉を集め、マッチを擦って一からたき火をする経験は初めてです。4歳の子にとってはおそらく人生で初めて「火を手にした」瞬間だったでしょう。一丁前に「俺は1人でつけられる！」と豪語する子もいれば、マッチを持つことすらとまどう子もいました。しかし、みんなスタートは同じ。「マッチのどこを持ったらいいの？」「火はどちらの方向に燃える？」など、火つけのイハを伝授していきます。飲み込みの早い子は、どんどんマッチを擦っていきませんが、火が怖い子はなかなか手が出せません。それでも、周りの年上のお兄さん、年下の女の子などモリイコ仲間がどんどん擦っていくのを見てみると、「やっぱり、がんばってみようかな」という気持ちになるようです。つける前まで泣き出しそうだった表情が、上手くつけられた瞬間にぱあっと笑顔に変わる。ここで、子どもたちは一つの壁を乗り越えられたのです。

前回の切り出しナイフを使う活動とともに、今回の火を使う活動はモリイコの中でも特に意義深い活動です。保護者からの反応も上々でした。我々スタッフとしても非常に嬉しいところです。

★12月の作業は…

12月は草はら広場の草をすべて刈る恒例作業があります。その他にも竹の間伐、落ち葉かきなど…そしてお昼は餅つきで忘年会スタートです！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！